

## 別紙標準様式（第7条関係）

## 会議録

会議の名称	令和7年度（2025年度） 第1回 枚方市人権尊重のまちづくり審議会	
開催日時	令和7年（2025年）10月21日（火）	10時00分から 10時50分まで
開催場所	市役所別館4階 第3・4委員会室	
出席者	明石会長、明石副会長、今森委員、上野委員、大橋委員、加藤委員、川村委員、榛葉委員、高尾委員、遠竹委員、古満委員、松浦委員、山田委員、渡辺委員	
欠席者	安田委員	
案件名	1. 枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の取組状況について（審議案件） 2. その他	
提出された資料等の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度（2024年度）取組実績（案）</li> <li>・資料2 （別冊）令和6年度 取組実績一覧</li> <li>・参考資料1 枚方市人権尊重のまちづくり審議会委員名簿</li> <li>・参考資料2 枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程</li> <li>・参考資料3 枚方市人権尊重のまちづくり条例</li> <li>・参考資料4 枚方市人権尊重のまちづくり審議会規則</li> </ul>	
決定事項	・案件1について、事務局案のとおり枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度（2024年度）取組実績を公表することとし、委員の意見を今後の人権施策における取組に反映することとした。	
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開	
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表	
傍聴者の数	1名	
所管部署（事務局）	市長公室 人権政策課	

審議内容	
発言者	発言の要旨
明石会長	<p>定刻になりましたので、令和7年度第1回枚方市人権尊重のまちづくり審議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、公私ご多忙の中、本会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>まず、事務局より本会議の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;配付資料及び会議運営の説明&gt;</p> <p>&lt;居内市長公室長の挨拶&gt;</p>
明石会長	事務局から委員の出席状況について、報告をお願いします。
事務局	<p>本日の出席状況は、委員15名中、出席委員14名で、枚方市人権尊重のまちづくり審議会規則の規定に基づき、本審議会が成立していることをご報告いたします。</p> <p>なお、本日の傍聴者は、1名でございます。</p>
明石会長	<p>それでは、案件に入ります。</p> <p>案件1「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の取組状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<資料1 枚方市人権尊重のまちづくり基本計画令和6年度(2024年度)取組実績(案)及び、資料2(別冊)令和6年度取組実績一覧について説明>
明石会長	ただいまの説明について、ご意見ご質問などございますでしょうか。
山田委員	<p>子どもの人権啓発という面から行っている様々な行事の中で、「池上彰さんと小中学生が平和を紡ぐ」という催しがありました。このような催しは、一方的に内容を伝えることが多いのですが、これは小中学生側にもいろいろ質問や発言をさせていました。この意見交換会は、非常に効果があったと思います。</p> <p>池上さんからは、戦争が行われるに至った各国の思惑の話や、小中学生が考える平和などに対する質問に対して笑いも交えながら真摯に答えるなど会場の全員が同じような目線で平和への思いを考えていたように思います。これは非常に人権問題についての啓発効果があり、素晴らしいと思いました。意義のある催し物であったと思いますが、今回の実績報告には、記載されないですね。</p>
事務局	<p>池上彰さんの講演会は、人権政策課として大変力を入れた事業で、委員にもお越しいただきましたありがとうございました。</p> <p>今回の審議会にてお示ししました資料は、令和6年度(昨年度)の取り組み実績になっており、池上さんの講演会につきましては、令和7年度(今年度)の実績となりますので、次年度の審議会で、大きく取り上げたいと思います。</p> <p>平和という観点で実施しました池上彰さんの講演会ですが、平和と人権は、表裏で繋がっていますので、人権政策課としても平和に取り組みながら、人権啓発に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。</p>

今森委員	<p>資料1の5ページです。4. 今後の取り組みの中に、「一人ひとりが人権を尊重し合えていると感じていますか」という問いに、「どちらとも言えない」が、世代別で見ても多いと書かれています。資料2に列挙されている取組は200項目近くあり、市は地道な取り組みをしているけれども、市民の意識の中では、ちょっとおぼろげになっているように、資料を見て感じました。</p> <p>例えば、可視化、目に見えるということがあります。先ほど市長公室長から名刺をいただきましたが、例えば、カワセミの鳥があれば、枚方市の鳥がカワセミだと一目でわかる。同じように、資料1の8ページの世界エイズデーについては、デジタルサイネージで視覚化されている。広報ひらかたでも、そういう視覚化がされている。</p> <p>今、予算が削減されていると思いますので、実現は難しいかもわからないですが、例えば「人権のまち枚方」というのを、テレビコマーシャルみたいなインパクトの強いもので流せば、市民の中には細かな施策まで浸透していくのではないかという気がしました。</p> <p>YouTubeを調べましたら、人権関係のDVDが一覧表で90ぐらいありました。例えば、小中学生の保護者に、こういった人権問題のDVDをYouTubeで親子で観ませんかといった啓発をするのも1つの視覚化になると思います。これだけ努力をされているので、もう少し市民の意識が上がればいいなと思いました。</p>
事務局	<p>人権意識が少しでも向上し、市民の皆さんに浸透していくよう、様々な取り組みをしているところですが、この市民意識調査結果を見て、委員がおっしゃるように何らかの工夫が必要だと思います。デジタルサイネージは、様々な取り組みで活用されており、例えば、今般、DVに関しましても、デジタルサイネージで啓発することを予定しております。その他にも周知方法があると思いますので、いただいたご意見を参考にしながら、どのようなことができるのか引き続き考えていきたいと思います。</p>
上野委員	<p>先ほど、委員の発言にもあったように、なかなか枚方市民に人権意識が浸透していないというのは、このアンケートの中で出ていると思います。これはもう何年も続いている状況かと思います。この状況がいきなり改善しませんよね。私は、市は年々具体的な対策を実施していると思っています。特に、学校園などにおける人権教育がとても充実してきているという感じです。人間というのは、やはり小さいときから人権意識を持たないとなかなか育っていかないです。高齢者になってから、いきなり、人権と言われてもなかなか変われない、頭で分かっていてもなかなか行動に出られないというのが現実かと思います。</p> <p>説明があった資料1のように、中学生の声を拾ったり、講演会後の方の意見などを拾いながら、課題解決に向けて、市は非常に前向きに取り組んでいると思います。市民の意識がすぐに変わらないというのは、みんな分かっているので、ぜひこれを途中で止めることなく、続けて、さらに充実していくことが、枚方の人権意識を高める1つの要素になるのではないかと思います。</p> <p>いつも感心するのは、前にはなかったものとして、今回配付された大阪府のヘイト啓発チラシです。このチラシは、最近、図書館などいろいろな所で見かけます。これ</p>

	はもう明らかに啓発の仕方が変わってきたなという感じです。このチラシを見たから、人間の意識が変わるものではないけれども、こういった小さなことでも大事で、浸透していくと思いますので、こういう感じで、ぜひ継続して下さい。よろしくお願ひします。
事務局	市民の方に何らか繋がるように地道に取り組んでおり、人権教育におけるDV予防教育に関しましても、1年間ですべての学校で実施できるわけではありませんので、何か年か計画で実施し、必ず受けられるようにしたいと思っております。引き続き、参加者の声も拾いながら、工夫の仕方を検証していくことも大事だと考えています。 今後とも、継続して取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。
高尾委員	人権教育は、私も一番関心のあるところです。資料1の3ページに記載のいじめの未然防止ワークショップなど、非常に良いことをされていると思います。ただ、これが留守家庭児童会室で実施されているということですので、学校の教育プログラムに入れられたら、さらに良いなと思いました。 もう1点、人権教育の推進ということで、大阪府の人権教育推進計画というのを拝見しましたが、枚方市の人権教育がどのように進められているのかを調べきれませんでした。資料2の1ページ、人権教育の推進、子どもの人権、人権教育の推進の取組内容の中に、「人権教育推進計画の作成、活用、見直しを発達段階に即したものとなるよう留意して行った」と書かれているので、教育委員会で、この人権教育推進計画を作つておられるのでしょうか。また、インターネットでも見つけることができませんでしたので、閲覧できるのか併せてお尋ねします。
事務局	いじめの未然防止ワークショップにつきましては、留守家庭児童会室を対象にした取り組みになっており、子どもたちの反応などを見ながら、これをどのように具体化していくかという試行的な段階でございます。学校では、いじめに関する取り組みをいろいろされていると報告を受けているところです。いじめに関しては、教育委員会と市長部局とが連携して、引き続き考えていくたいと思います。 人権教育推進計画の関係につきましては、今、手元に資料がありませんので、担当課に確認し、改めてお示しさせていただきます。
上野委員	学校教育で、人権教育ができるのか疑問に思って言われたのですか。
高尾委員	いえ、疑問だからではなく、具体的にどういう計画なのかを知りたかったものです。国連の人権教育世界プログラムの第5段階の行動計画が昨年採択されて、その中で、デジタル技術のことが強調されているようです。市としては、来年度で前期計画が終わるので、後期計画で、そういうことが挙ってくるのかなと思っていますが、人権教育推進計画とは、どういう計画で、どんなことを重点的に教育プランの中に入れているのかということを知りたかったのです。
上野委員	人権教育科という教科はなく道徳という形で、ずっと長く実施しています。ただ、道徳においては、部落問題とかを中心に行ってきたと思うのですが、近年は、いじめが非常に大きく取り上げられていると思います。 枚方市を挙げて、学校教育に人権教育が重要だということを、声を大きくしていた

	だと、学校教育に大きな影響があると思いますので、ぜひ、何年かの後にはこの枚方市で人権の花を大きく咲かして欲しいと思い、発言をさせていただきました。よろしくお願ひします。
加藤委員	<p>枚方人権まちづくり協会におきましては、人権について学校の先生がどの程度わかっているか状況を知るために、人権を広めるということもあわせて、小学校の教職員組合が実施される講演会に共催をしています。その講座に参加させてもらい、人権まちづくり協会としても、人権意識をもっと広めたい、どうしたらこの人権っていうことを皆さんにわかってもらえるのかと取り組んでいます。</p> <p>人権は難しく考えられることが多いですよね。だから、相手を思いやるということ、これが人権ですよということを、私たちは伝えています。本当に深く考えるのではなくて、相手を思いやることがあれば、いろんなさかいもなくなり、理解し合えるんです。先生方と私たちがどこまで同じところに向かって行けるか、そういう事を考えながら、人権まちづくり協会は活動しております。</p>
大橋委員	<p>子どもの人権という部分で、枚方には支援学校もあり、先生たちがその支援学校に来られている生徒さんたちに、いろいろ取り組まれております。その中で、普通の小学校と支援学校との交流ができる場が、普段からあれば、障害のある人もない人も、子どもたちみんなが一緒に遊べて、もっと触れ合えて良いと思います。放課後等デイサービスが充実し障害のある子どもさんは、たくさん利用されていますが、そういうサービスがあればあるほど、分かれてしまう部分も増えてきます。サービスも充実させつつ、その子どもたちみんなが一緒に交流できる場所が、少しでも多くできていけば良いなと思います。</p>
山田委員	<p>資料の中で、人権教育の推進、企業等における人権教育の充実、女性の人権というのがあります。10年ほど前にも、ジェンダー格差というのが話題になりました。世界経済フォーラムが発行しているジェンダーギャップの指数というのがあります。世界で、ジェンダーの格差がどれくらいあるか調べているのですが、日本は125位ということでした。アジアの国々よりも低い。教育、健康、経済、政治という分野がありますが、政治、経済の分野が非常に低い。閣僚などに女性がいない、管理職の女性がほとんどいないといったところの評価です。この評価を受けて、各企業の経営者には、女性を管理職に登用しなければならないというムードが出てきましたいくら優秀な女性であっても、現場を経験しないで早々に管理職になると、周りから色眼鏡で見られるなどいろんな問題が生じたようです。</p> <p>ただ、それはもう終わったことで、解決に向かっているという感触はあったのですが、まだ、そういった話も聞きますので、改善されていないのかなと感じています。その辺のところで、企業に対する感触を確認していただけたら、ジェンダーバイアス、あるいはジェンダー格差に対するところが、だんだんと改善できてくるのではないかという気がします。</p>
明石会長	この案件につきまして、他にご意見いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員	(意見なし)
明石会長	<p>本日は、事務局から細やかに分析、報告をいただきありがとうございます。</p> <p>私も少し感想を申し上げますと、やはり人権というのは少しネガティブな意識として捉えられるところがあります。</p> <p>資料 1 の 3 ページに記載の市民意識調査でも、自分以外に対する人権侵害を見聞きしたとき、「何もしなかった」人が 4 割弱、また具体的な行動でいいますと、4 割を超えた方が行動を起こすことをためらっているという現状があるということで、様々な施策を、今、取り組まれているところです。</p> <p>私が教えている大学でも、一部の学生に、人権は 3 K という意識を持っているようです。堅苦しく、暗く、関係ないという後ろ向きの意識です。私たちはコロナの時代を経験しましたよね。ウィルスは大変怖かったのですが、同時に偏見ということにも直面しました。時には被害者に、また、咳や微熱のある人に対して偏見を持つなど加害者にもなり得るような状況を経験しました。</p> <p>そういう意味では、身近な問題として人権があるということを確認いたしました。また、人権の啓発や可視化を図るために学校での取り組みを通して、子どもたちが交流し触れ合うことで学びが深まるというご意見もいただき再確認したところです。</p> <p>そのようなことを踏まえまして、本計画が更に充実されますように、行政の方でもご尽力いただければと思います。ありがとうございました。</p> <p>では、案件 1 については、事務局案のとおりとします。委員からの質問には別途ご回答をお願いします。</p> <p>次に、案件 2 「その他」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;人権尊重のまちづくり基本計画の取り組み実績の公表等の今後のスケジュールを報告&gt;</p> <p>&lt;昨年度の審議会で報告した市内で発生した差別張り紙について、その後の状況を報告及び、啓発チラシを報告&gt;</p> <p>&lt;人権尊重のまちづくり基本計画の中間見直しを今後検討することの報告&gt;</p>
明石会長	ただ今の報告について、ご意見ご質問ございませんでしょうか。
委員	(意見なし)
明石会長	その他、全般を通して、何かご意見はありませんか。
高尾委員	先ほど申し上げたデジタル技術のことですが、国連において昨年度採択したプログラムのフェーズ中に、人権とデジタル技術に関する教育ということで、いくつか項目が書かれています。すでに、SNS の問題とか、ニセ情報、誹謗中傷とか、いろんな問題が起こっていますよね。そして、子どもたちの状況が、どこまで我々が理解できているのか非常に不透明な部分で、それをどうしたらしいのかもわからない状況にあるというのが、私自身が非常に悩んでいて考えているところです。来年度のアンケートによって、計画も見直すと思いますが、それと並行しながら、何か具体的にできることは、来年度でも、入れていくことができないのかなと考えております。人権とデ

	ジタル技術に関する点については、早くから取り組むことができれば良いと考えております。私自身の思いと合わせての意見です。
事務局	学校でも、SNSやスマホ等とのつき合い方について、授業や講座の中で取り入れられています。インターネット上というのは、本当に様々な問題があり、現計画の策定段階でも議論になって、課題や取り組みなども書かれております。ただ、来年度実施のアンケートでは、そういう時代の観点も踏まえて検討をしていく必要があると思っております。ご意見ありがとうございます。
明石会長	他にご意見は、よろしいでしょうか。
委員	(意見なし)
明石会長	それでは、本日の案件はすべて終了といたします。 本日は、早朝からお集まりいただきまして、みなさんの貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。これで、令和7年度第1回枚方市人権尊重のまちづくり審議会を閉会いたします。